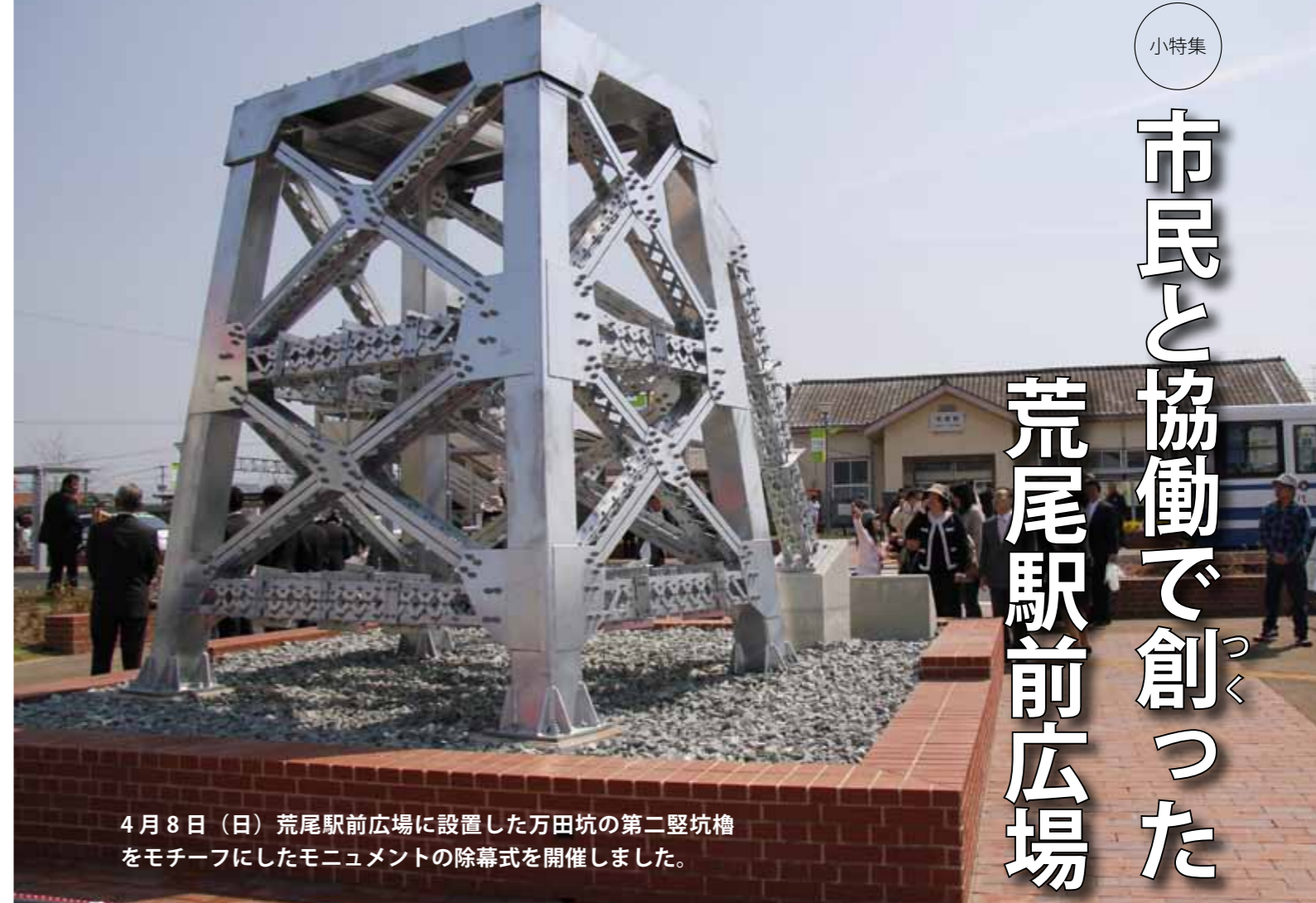


市民と協働で創った

荒尾駅前広場



4月8日(日) 荒尾駅前広場に設置した万田坑の第二堅坑櫓をモチーフにしたモニュメントの除幕式を開催しました。

産学官連携のモニュメント製作



▲市長にプレゼンテーションする有明高専の学生

荒尾駅前広場再整備ワークショップで「荒尾らしさ」を象徴するモニュメントの設置が話し合われました。
荒尾市では万田坑の世界遺産本登録を目指していて、地域住民の機運を盛り上げるためにも、荒尾を象徴する万田坑第二堅坑櫓のモニュメントを設置することにしました。
設計は今後の荒尾を引っ張っていく、有明工業高等専門学校機械工学科の学生に依頼しました。これには、若い世代に荒尾の歴史に触れてもらい、このまちがどのような形に形成されていったのかを知ってほしいという思いが込められています。



▲将来の夢などをメッセージレンガに刻む児童

製作は地元鉄工所が行い、まさに産学官連携のモニュメントが完成したのです。
また、モニュメントの台座には、万田小学校の第一期生が作成したメッセージレンガが設置されています。
市制施行70周年の節目となる今年度、生まれ変わった荒尾駅前広場に、児童たちの未来への思いが刻まれました。
駅前広場が市民の憩いの場となるよう、モニュメントの台座はベンチの代わりにも利用できます。

interview



担当職員 石川貴士
(前土木課・現下水道課)

今回の駅前広場整備は、設計段階から市民の皆さんの参画があったことで、公共事業の在り方、進め方について検証する良い機会となりました。
すみよいまち荒尾は行政主導でつくりあげるものではなく、市民の皆さんと協働でつくりあげるものだと強く感じました。今後の公共事業の手法としても非常に参考になる事例だと思います。

- ④ 駅舎内に観光案内所を新設しました。4月～6月と9月～11月の土日祝日(午前9時～午後4時ごろ)に開設し、観光情報を提供します。
- ⑤ 宮崎滔天と孫文の友情の梅を植樹しました。市制施行70周年に合わせ、ナンバー70の苗を植樹しました。
- ⑥ 花いっぱい推進協議会の協力で駅前広場に花が植えられました。美しい花で観光客を迎えます。

- ①② 観光客が荒尾を体感でき、市民がふるさと感じる荒尾駅になるように、商工会議所や観光協会や青年会議所などで懇談会が開かれました。
- ③ 市民の皆さんや関係団体が参加するワークショップを開催し、モニュメントの設置、駐輪場への屋根や照明設置、案内板の集約や歩車道の区分の明確化など、さまざまな意見が出され、荒尾駅前広場再整備の設計に反映されました。



▲完成後の荒尾駅、西側から

荒尾市の玄関口である荒尾駅前広場を新しく整備しました。
この荒尾駅前広場再整備事業は平成22年に開催した荒尾駅及び周辺を元気にするまちづくり懇談会や、市若手職員の荒尾駅活性化会議や荒尾駅前広場再整備ワークショップで市民の皆さんや若手職員から出された意見を集約して完成しました。

